

2022年度 キャリア支援に関するアンケート調査結果(卒業時)

1. 調査概要

調査対象 2023年3月卒業生 535名／回答数 368名(大学 325名・短大 43名), 回答率 68.8%

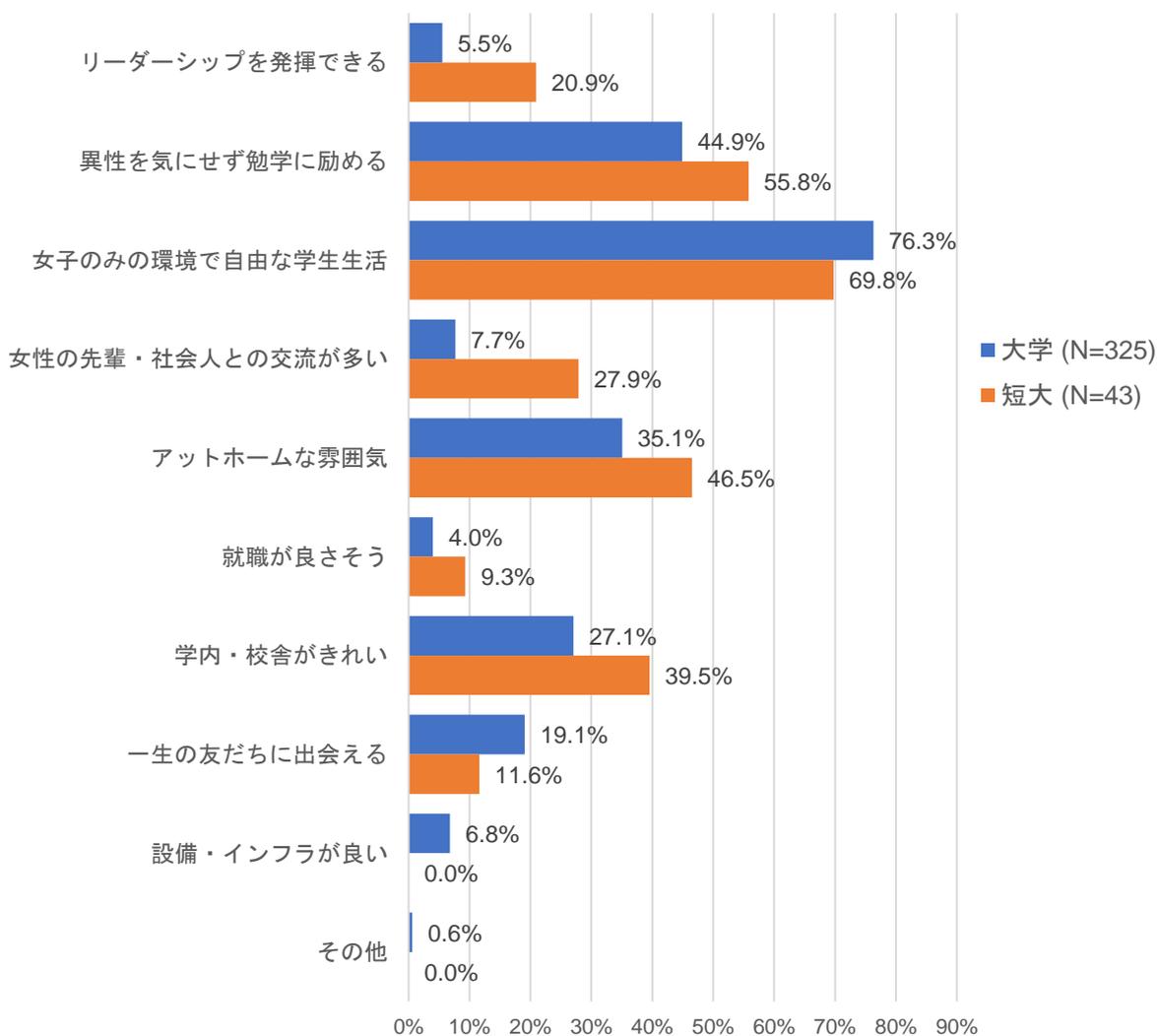
調査期間 2022年12月16日～2023年3月24日

調査方法 専用フォーム(Forms)によるインターネット調査

本報告では、2021年度「卒業生キャリア支援調査」および「新入生対象 職業意識調査」(大学: 2019年度実施)との比較も掲載する。

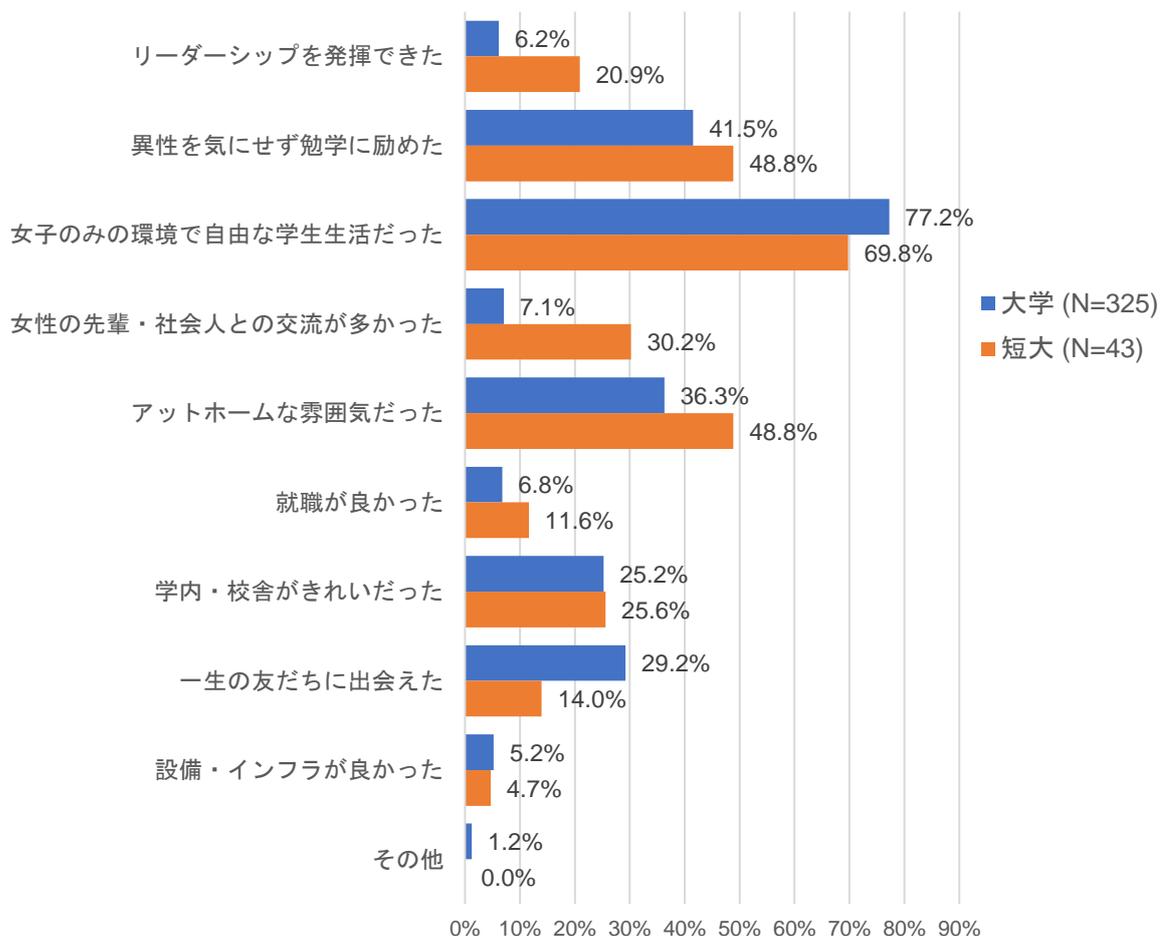
2. 調査項目の集計結果

(1) 一般的に、女子大学の良い面は何だと思いますか。(複数回答)



(2) 実際に本学で学生生活を過ごした経験から、女子大学の良い面は何だったと思いますか。

(複数回答)

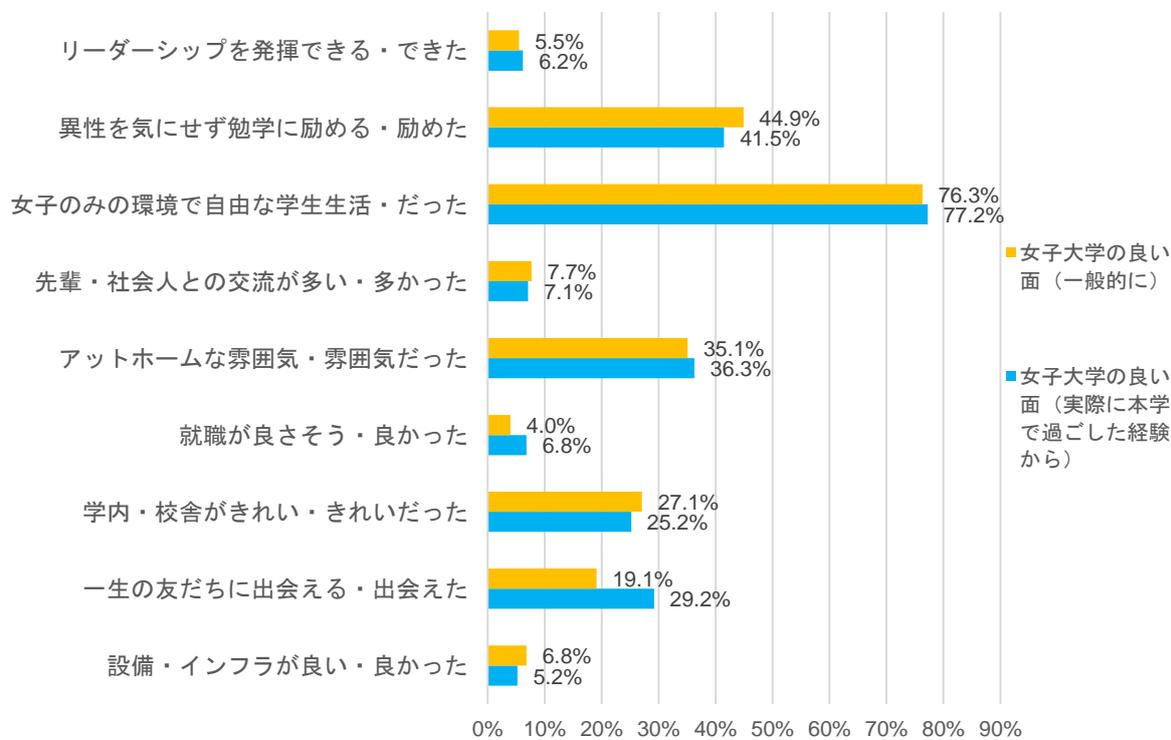


「その他」の回答：

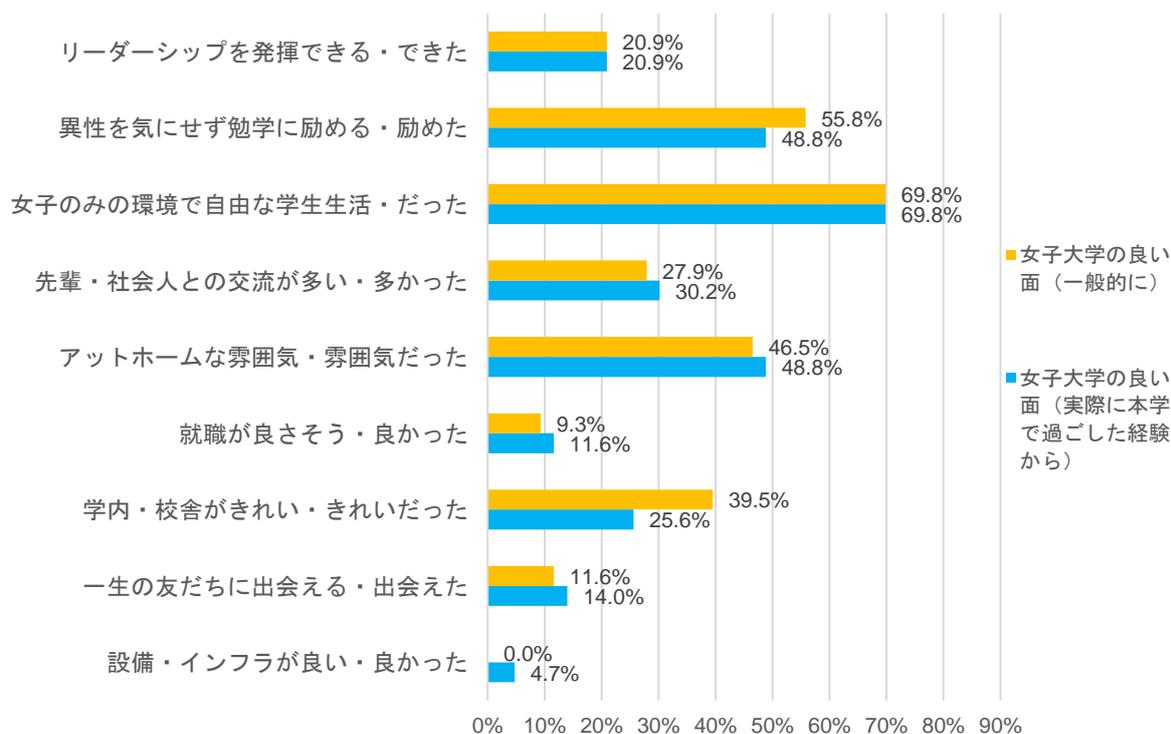
- 教員と生徒の距離が近く、手厚くサポートしてもらえる
- よく他の看護大学・学校で聞く「先生が厳しすぎる」「看護師向いてないんじゃない？」などの、学生を過度に責める言葉が一切見受けられず、どうすればその学生が良い方向へ向かうことができるかを一緒に考えてくれるため
- 女性同士の派閥が勃発するのは、異性がいるからだ実感した。女性だけなら変な派閥はなく、他グループを蹴落としたりせずに、それぞれのグループが生き生きしている感じがした
- 女子大のため、施設も女性にあわせた施設になっていると感じた
- アットホームな雰囲気のため、部活やサークルでは先輩、後輩関係なく仲良く交流できる。そのため、学科が同じ先輩や後輩だと、「この科目はテストあるから気をつけた方がいいよ」など、先輩に教えてもらったり、後輩に教えたりできるため
- 授業でのグループワークや課外活動の中で、女子のみの環境なのでいろいろと話しやすく、のびのびと自由に課題に取り組むことができたと感じたから

▼「女子大学の良い面」について、「一般的な良い面」と「実際に本学で過ごした経験からみた良い面」の比較

【大学】(n=325)

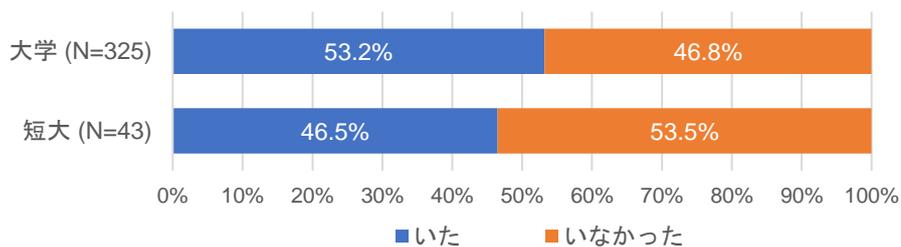


【短大】(n=43)

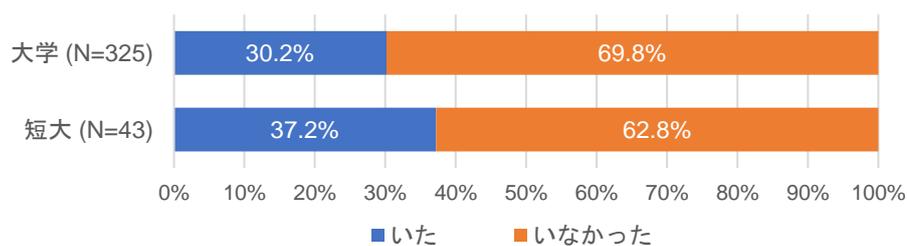


(3) 本学の教育の中で、教職員や卒業生など、あなたのこれからの生き方や働き方について参考になった人(ロールモデル)はいましたか。

▼教職員

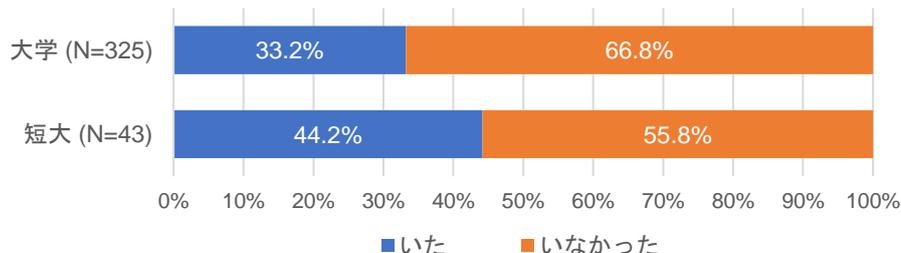


▼卒業生

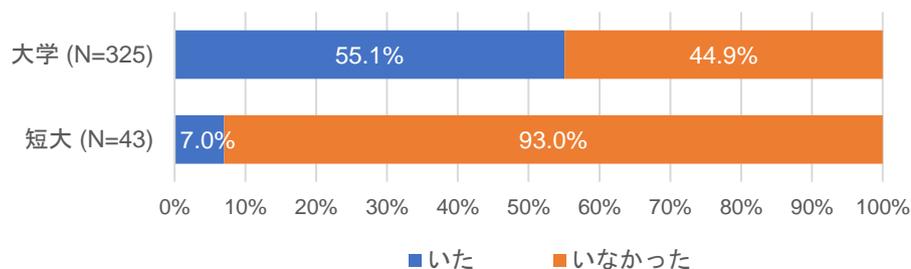


▼在学生

(先輩やサークルのメンバー等)

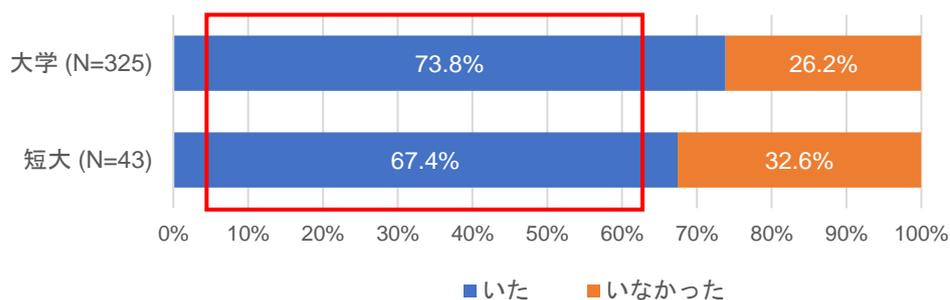


▼学外の実習先
(実習やインターンシップ等)



▼教職員、卒業生、在学生、学外実習先のいずれか

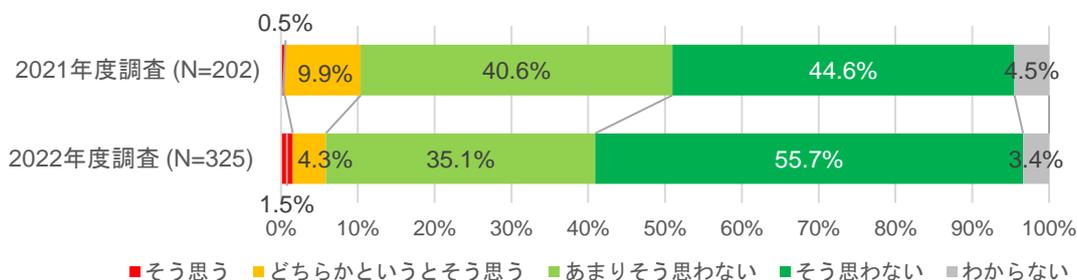
(教職員、卒業生、在学生、学外実習先のうち一人でもロールモデルがいた回答者を「いた」、いずれの場合もロールモデルがなかった回答者を「いなかった」として再集計)



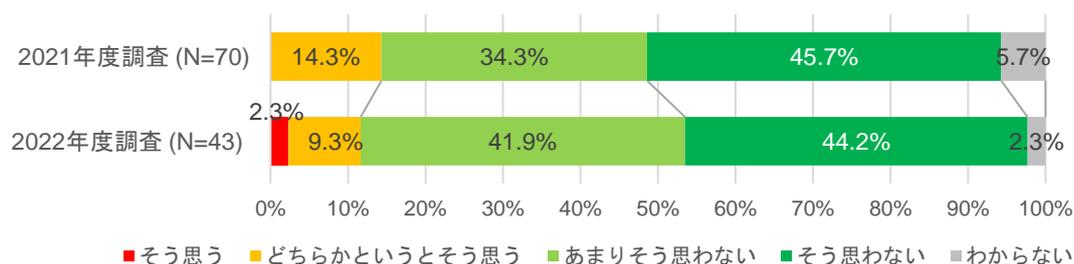
(4) 性役割意識「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

(昨年度調査結果との比較) ※異なる母集団

【大学】

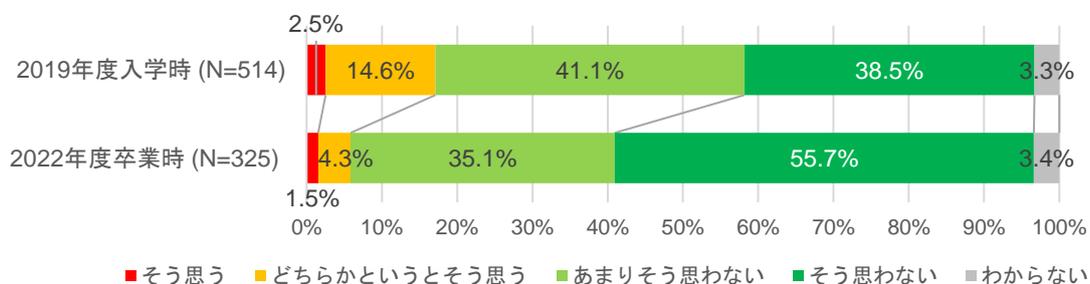


【短大】



(入学時調査との比較) ※同じ母集団

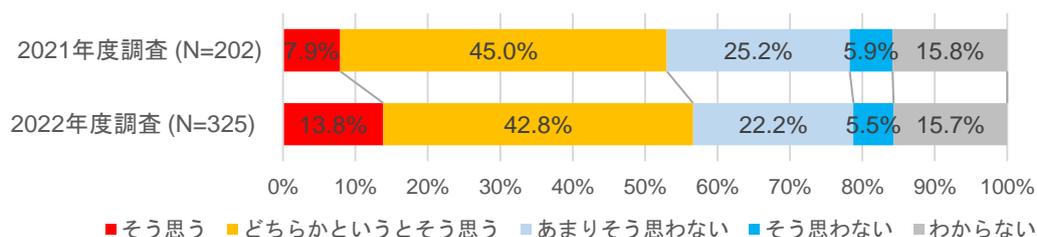
【大学】



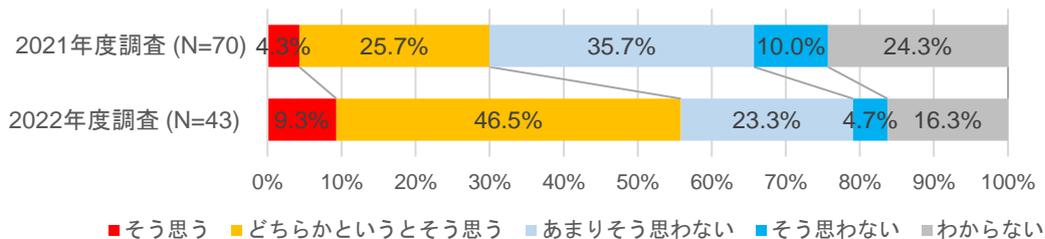
(5) 「自分は将来、社会的に活躍できると思う」について

(昨年度調査結果との比較) ※異なる母集団

【大学】

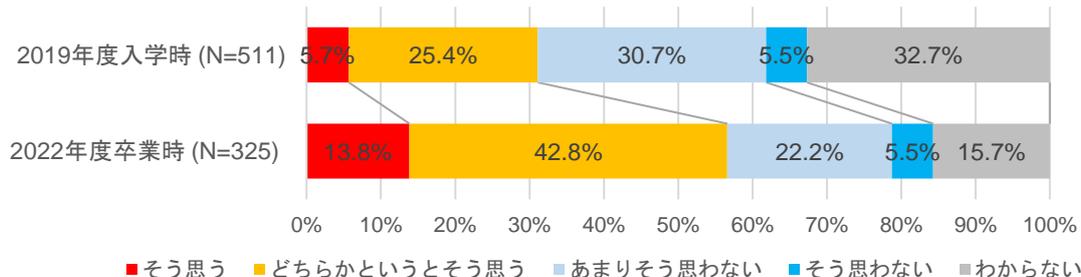


【短大】



(入学時調査との比較) ※同じ母集団

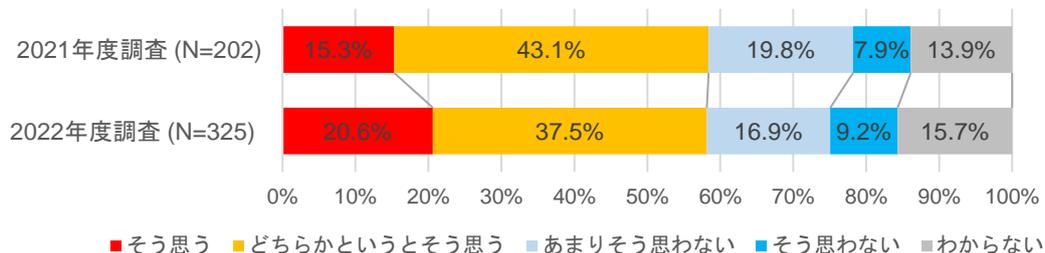
【大学】



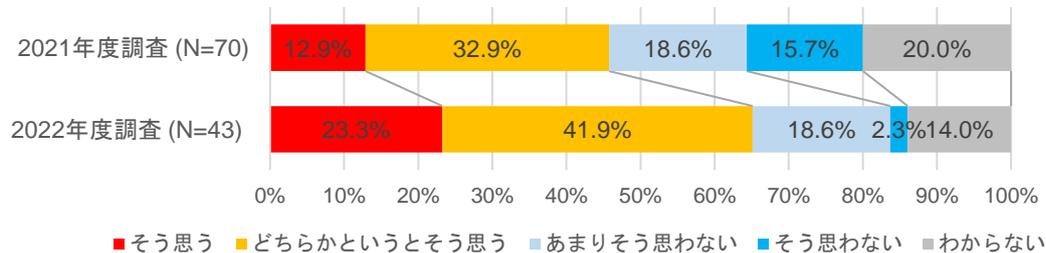
(6)「卒業後も京都光華女子大学に支援してほしい」について

(昨年度調査結果との比較) ※異なる母集団

【大学】

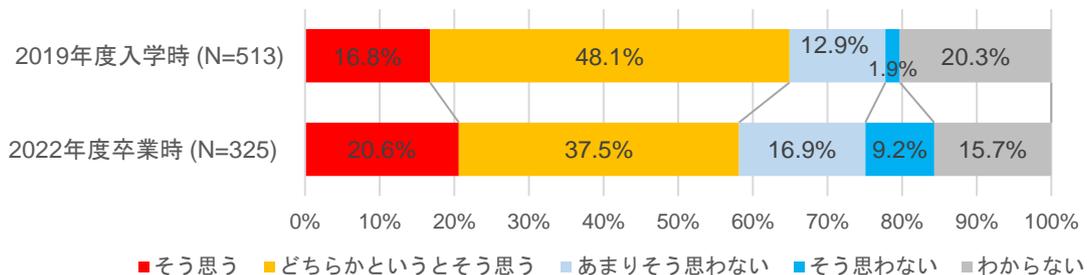


【短大】

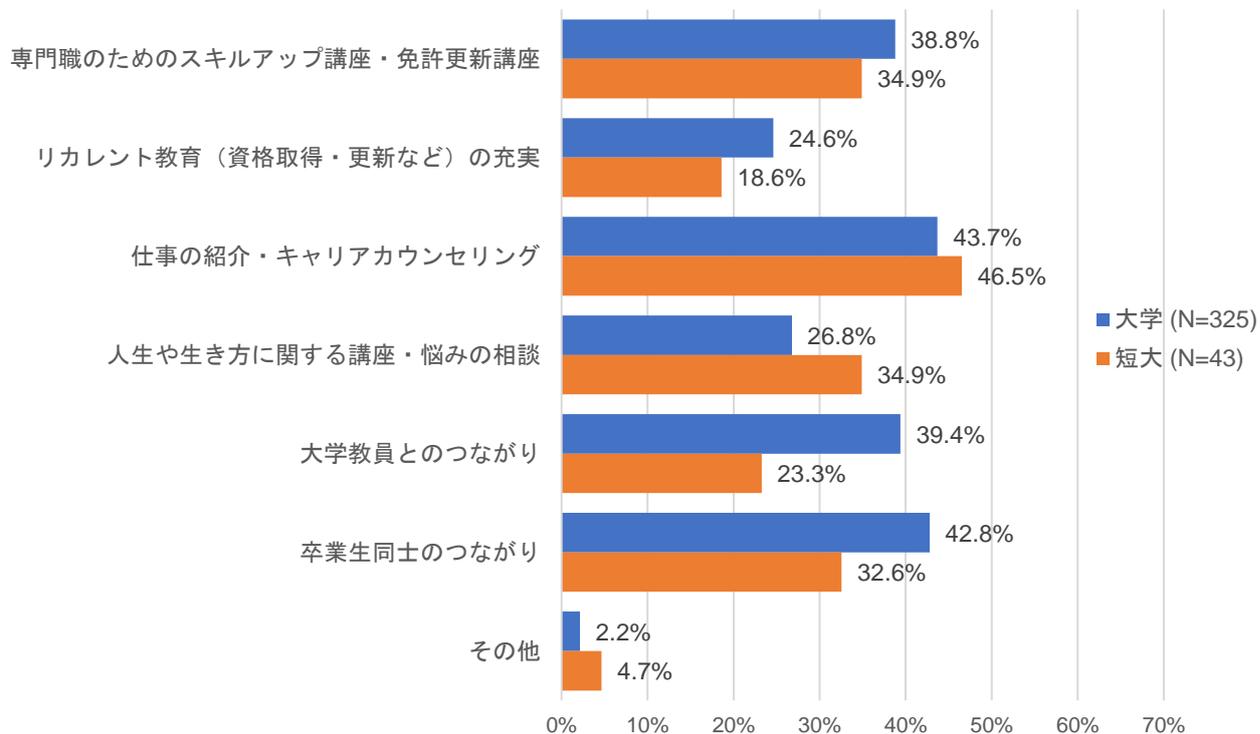


(入学時調査との比較) ※同じ母集団

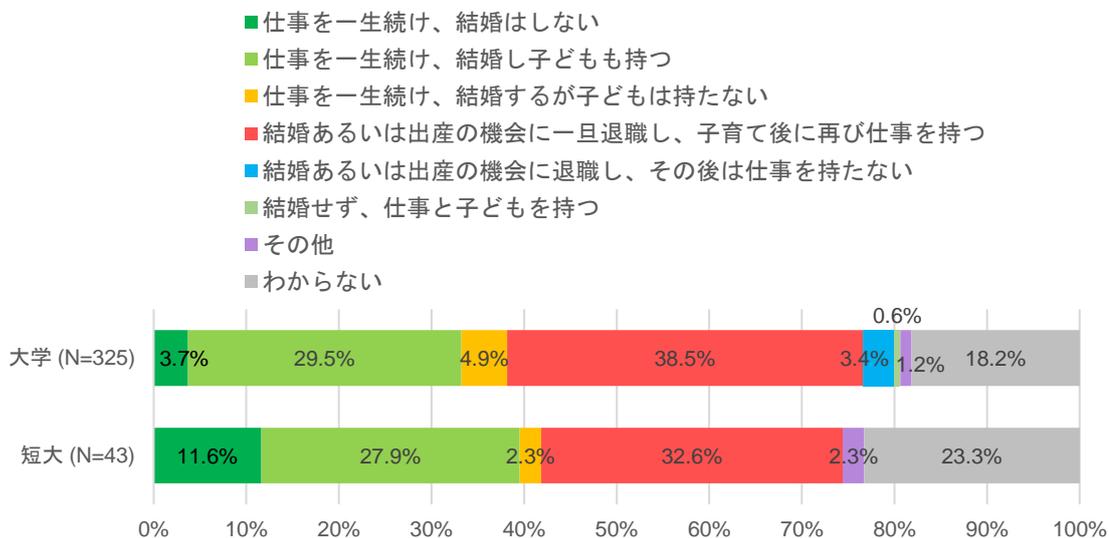
【大学】



(7)あなたが望む「卒業生への支援」をいくつでも選んでください。(複数回答)



(8)あなたは将来、どのような生き方を希望しますか。



以上